



慈恩保育園による七夕飾り



No.92

平成24年9月1日発行

たるみず

# 市議会だより

平成24年第1回臨時会

議案等の審議結果…………… 8

平成24年第2回定例会

一般質問…………… 2～7

議案等の審議結果…………… 8

■一般質問の詳細につきましては、  
図書館、両支所、各地区公民館、  
市役所2階の情報公開室にありま  
す“会議録”をご覧ください。  
※本市のホームページでもご覧い  
ただけます。(6月議会の会議録は  
9月上旬より閲覧できます。)

発行／垂水市議会

編集／垂水市議会だより編集委員会

鹿児島県垂水市上町 114 番地

Tel 0994-32-1111 (内線 358)

# 一般質問

平成24年第2回定例会は、6月4日から6月22日まで19日間の会期で開かれ、6月12日・13日の本会議で13人の議員が一般質問をおこない、うち12人より“市議会だより”の原稿提出がありました。

- 紙面の都合により主な項目について、質問と答弁の要旨を質問者の文責により掲載しております。
- 掲載の順番は質問順（質問通告書提出順）です。



## 中央地区の側溝清掃は 梅雨入り前に

大園 藤幸 議員

### 問

垂水の宿命である桜島の火山灰、早ければ9月中旬から始まり、明けて5月、6月と長い間火山灰に悩まされており、6月に入りますと、1号、2号、3号と台風が発生し、さらに梅雨が明けると本格的な台風シーズン、垂水には安心してゆっくりしていただける時期はない。中央地区では、だいぶ早い時期から側溝が桜島の降灰でいっぱいになっている。除去をお願いできないか？蓋のかぶっている側溝は危険性があり、物理的に蓋の重さもあり、地域住民では難しい。行政にお願いしたい。住民の声をわかっていながら、なぜ梅雨入り前に対策をされなかったのか。

### 答

今回の側溝清掃は梅雨前にしないと意味がない、対応が遅いとの指摘はそのとおりで反省しております。

### 問

日本の行政の統治上、新年度はなかなか建設業の仕事が見当たらない、住民の要望等、急を要する仕事は、重機借り上げ、随

意契約で施行されている。急を要すとはどういうことなのか。このような時こそ重機借り上げ等の考えはないのか伺います。

### 答

指名競争入札で発注いたします。

### 問

土砂処分場の状況及び今後の利用を伺います。

### 答

平成17年度に大災害が発生し、受け入れ可能容量が急激に少なくなり、空き容量は、大災害がなければあと2、3年程度で満杯になると思われます。

### 問

平成12年度開設され、桜島の降灰も相当な搬入があったと思えます。土砂処分場に関しては、全職員が危惧されております。どのような方法で新しい残土処分場の建設ができるか調査結果があるか伺います。

### 答

土砂崩壊のない、2級河川の流域でない、市街地、集落の近接地でない等を勘案しているが、その候補地が見つからない状況でございます。



## 市民が活用できる屋内温水プールについて 観光振興のための条例設置と入湯税の活用

堀内 貴志 議員

### 問

子どもたちの体力増進と健康づくり、高齢者のリハビリや健康維持、垂水市の財政圧迫の要因となっている医療費の抑制のために市民が活用できる屋内温水プールが必要であり、また市民のニーズも高いと思う。そこで垂水中央中学校で老朽化したプールの建て替え工事の計画があると聞いているが、市民も活用できる屋内温水プールにできないものか伺います。

### 答

中学校のプール設計の計画を、市民も活用できる屋内温水プールにはどうかにつきましましては、市長から市民プールの性格のものについても検討するよう指示されています。現在、建設費用、維持管理費用、中学生の利用との調整等について調査を進めているところです。

### 問

道の駅交流施設の管理運営に関する協定書第24条で、売上総利益の50%については垂水市に納付し、20%については垂水ふるさと応援基金等に拠出するとなっているが、観光振興基金として観

光のために特化した目的で利用できないものか伺います。

### 答

基金積み立ての条例を設置し、観光振興に使っていききたいという思いはあります。そこで、その用途は、売上総利益の50%については財政課との協議、20%の垂水ふるさと応援基金等については、相手方の意向もありますので、十分に協議し、道の駅交流施設の維持管理をはじめ、今後、観光振興に使えるような基金になるよう努力していきたいと思えます。

### 問

垂水市は、いい温泉があるのに施設の老朽化が進み、今後、温泉客が減少するのではとの危機感があります。現在、徴収している入湯税について、その使用目的を温泉事業の普及事業に特化して使用できないものか？

### 答

温泉施設等の整備に対する助成等に関する制度設計、これをそれぞれ主管課において行う必要があるため、整理の上、総合的な観点から実施可能かどうか判断すべきと考えています。



たるみず元気市



## 空き家条例の制定で、危険な建物の撤去を図るべきでは!!

感王寺 耕造 議員

### 問

空き家の急増で、崩壊や放火が各地で発生、廃屋に大量のゴミが捨てられたり、景観を損ねたりするなどの問題も引き起こしています。本市の空き家の状況把握は？また、空き家条例を制定し、危険な建物については撤去を促す必要があると思いませんか？

同時に、空き家を出さない施策も必要であるが、統合後活用されない中学校校舎をトランクルームとして活用し賃貸を促す仕組み作りが必要と思いませんか？

### 答

空き家の件数、崩壊のおそれなどの状況は、現状では把握できておりません。近隣住民からの通報は、空き地などから草木の伐採の苦情が39件あり、そのうち4件が空き家の苦情でありました。生活環境課で、対象の空き家や土地の所有者、管理者を特定して廃棄物清掃法の観点から、現状の写真を添付し、文書による指導を行っております。

今後の条例制定については関係課で十分な議論のもと進めるべき

重要な課題であると考えられております。

空き家バンク制度の現状の課題というところで御指摘いただきまして、トランクルームについては、参考にさせていただき検討してまいります。

### 問

現時点での小学校の統合について教育長の見解は？また、生徒数増を図るため、山村留學生の考えはないのか？

### 答

住民基本台帳をもとにした平成24年度から30年度の児童数は650人前後の横ばいで推移する見込みです。現時点では近い将来の統廃合は考えておりません。

山村留學制度については、地域の住民の強い要望があれば、他市町村の状況・成果・課題等について研究してみたいと思っております。

(その他の質問事項)

○小学校の施設整備(改修・補修)の年次計画について

○基幹情報システムについて  
○堆肥センターについて



## 減免制度の改善・充実で市民生活の応援に

持留 良一 議員

### 問

今日、政府の施策によって弱者はさらに格差と貧困が深刻化している。そこで市の制度の見直しで市民生活を支援できないか。市民には命と生活を守るために納税者の権利として納税緩和措置や減免制度がある。地方税法では「貧困に因り生活のため公私の扶助を受ける者その他特別の事情がある者に限り、条例の定めるところにより、市民税を減免することができる」とされているが、「公私の扶助」を国が示している内容で運用できるようにすべきではないのか。

### 答

市税条例等の条文に「公私の扶助」という文言がある。しかしながら、現在対象となりうる「公私の扶助」についての定義を明確にしておらず、明文化する必要がある。国の考え方を踏まえ、検討を重ね整備していく。

### 問

地方税法362条の第三項に「やむを得ない理由があると認められる場合においては、同項目の延滞金を減免することができ」と記されているが、本市もこの法を根拠に取扱規定を定めたいと考えるがどうなっているか。

### 答

延滞金の減免に対する申請及び問い合わせについてはほとんどないが、申請を要する場合には、本税の減免申請を元に様式を作成するなど対応していく。減免の基準に関しては、県内19市を調査の結果、規則を定めている自治体もあれば、定めていない自治体もある。さらに、調査を進め、規則若しくは要綱での制定に努めていく。

### 問

「扶養義務」を口実に生活保護が拒否された、餓死事件が相次いだ。民法の扶養義務の程度は、夫婦間や未成年で働けない子に対する扶養義務は強いとされ、兄弟姉妹や成人同士の扶養義務は余裕があれば援助するなど生活レベルが下がらない程度と解されている。これらのことから扶養義務者から扶養がなくても生活保護を受けることはできると理解するが、生活保護の開始や継続の要件になるのか。

### 答

民法では扶養義務があるとなっており、年収等で援助額が決まっている訳ではなく、扶養義務者の判断により決まる。強制できるものではない。



関西かごしまファンデー

## 牛根のブリ、海潟のカンパチの 販路拡大を

川畑 二郎 議員



## 本市の生活弱者への対策は？ 市営住宅の現状は？

田平 輝也 議員

**問** 平年より4日、昨年より12日遅い梅雨入りであります。災害の起こり得る季節となり垂水市でも防災対策に取り組んでおられると思いますが、その対策は。

**答** 防災対策については、市長が最重要課題の柱に掲げております。対策については、危機管理対策室及び危機管理監における早期の情報収集、情報伝達、避難を重点としてまいります。情報収集においては、県の土砂災害警戒情報・土壌雨量指数及びあらゆる情報を活用し、防災無線や、消防団員によります情報伝達に心がけてまいります。避難に関しては、空振りをおおそれず早めの避難を促してまいります。状況が夜間になるようであれば、日没前の避難誘導に心がけてまいります。

5月25日と26日に県総合防災訓練が2年ぶりに垂水市で開催され、広域住民避難誘導訓練等が実施されております。

**問** 梅雨に入りますと草木が生い茂ってまいります。先日、友

人が久しぶりに帰ってきて数名で車に乗り福岡浦谷線に行き、やっと帰ってきたとの話でした。道路の整備の計画はあるのかどうか。

**答** この道路は、市道福岡浦谷線で起点が海潟字堂ノ迫から終点中俣浦谷まで延長6,755mです。このうち約2,400m部分は林道海潟牛根麓と重複し、舗装されていますが林道との分岐から浦谷までの4,355mの一部は舗装してありますが、そのほとんどは砂利道であり、林道海潟線開設事業として、道なき山の斜面を測量し、山を切り開いてつくった道路であります。特に改良整備の計画はありませんが、緊急雇用事業等に対応していきたいと思っております。

**問** カンパチ、ブリの販路拡大について

**答** 国内需要が低迷している状況であり、牛根のブリはアメリカ、海潟のカンパチは東南アジアへの販路を求めたいと思います。

**問** 全国的に不景気が続いている中、生活保護受給者が全国で過去最高とのことですが、本市においては生活弱者に対してどのような対策をされておられるのか。民生委員を通して、また、直接市に生活相談にこられる方々の現状を伺います。

**答** 全国の生活保護受給者が昨年12月時点では208万7千人で過去最高となり、さらに増加傾向にあります。本市は平成元年度188世帯の244人が、平成24年6月現在で127世帯の169人で今後も本市は人口の減少に伴い、横ばいか減少傾向であると推測されます。本市では民生委員、児童委員55名、主任児童委員3名の方がおられ、住民の立場に立つて相談に応じ、必要な援助を行うなど、福祉推進のリーダーとして活動する民間の奉仕者で、社会福祉の増進に熱意のある人を知事の推薦により委託された方々であります。昨年度の相談件数は民生委員を通して7件、直接福祉事務所

に35件、相談にこられております。民生委員の方々には生活に困窮されている世帯の情報提供や介護保険の各種サービスのことなど幅広く保健福祉課の業務に協力をいただいております。

**問** 住宅に困っている市民のための本市の市営住宅の現状はどうなのか。本市には空き家はあるが荷物があるからとの理由で貸してくれるところが少ないようすが市として家具整理支援の対策、検討は。

**答** 現在市営住宅の管理戸数は444戸ですが、修繕の空き家などで100%に近い入居率であります。空き家バンク制度の登録件数が減少傾向で、その原因の一つとして、家財処理の問題があり、そのことに対して市として支援の方法などないか検討したいと考えております。  
(その他の質問事項)  
○固定資産評価額の計算方法は  
○教職員住宅空き家の活用は



産業厚生委員会【かごしま豊かな海づくり協会】



### 通学路の危険箇所は126箇所

北方 貞明 議員

**問** 平成23年度当初の通学路の種目別道路上の危険箇所は、23年度末に何箇所改善されたか。24年度の取り組みは。

**答** 平成23年度の通学路における危険箇所数は、交差点や歩道、道幅、交通量が多い道路上の危険箇所69箇所、不審者出没の恐れが24箇所、防空壕やため池、がけ崩れの恐れ33箇所、延べ126箇所が報告されております。23年度末までの改善等の状況は、危険箇所126箇所のうち、改修や看板等設置24箇所、現場で児童生徒に直接指導49箇所、スクールガードやスクールガードリーダー等の配置、巡回等11箇所。平成24年度の取組みは、通学路の危険箇所を盛り込んだ安全マップ作成やスクールガード等に危険箇所を周知し、安全指導を徹底して行うとともに、交通安全教室等で危険予知トレーニングを実施し、危険予知能力を高め、危険を回避する力をつけて指導をする。

**問** 修学旅行生の誘致拡大施策について

修学旅行生の誘致拡大施策

策について

**答** 今後の修学旅行生の誘致拡大には漁業体験という強い武器を持つており、本市漁業体験と民泊をセットにしたかたちで独自で関西、中国地方の旅行会社や中学校、高等学校を訪問し、漁業体験などアピールを行う。また、大隅地域4市5町の大隅広域ツーリズム推進協議会でも、関西・中国地方へ出向き、旅行会社等へ誘致やセールスをする計画をしております。

**問** 修学旅行生の漁業体験、漁船損害賠償保険料の補助金について

**答** 県では小型船舶登録と遊漁船業登録の登録料は補助できません。市独自で期限付きで約3年間を目安に漁船損害賠償保険料を民泊受け入れ家庭の負担を軽減するために補助したいと考えております。補助率につきましても、4分の3程度を考えております。



### 若者の失業率について 公共事業、市道整備について

川越 信男 議員

**問** 垂水市においての若者の失業率はどれぐらいなのか伺います。

**答** 鹿屋職業安定所管内の失業者数はとらえておらず、有効求職者数としてとらえておりますので、有効求職者数と有効求人倍率についてお答えいたしますので、御了承願いたいというふうに思います。平成24年3月現在の有効求職者数は3千7人に対して有効求職者数は4千50人で、有効求人倍率は0.74倍で、前年同月に比べて少しは上昇しているものの、依然として有効求人倍率が1を下回り求職者は厳しい状況が続いております。

ます。

**問** 市道整備、公共事業の観点から、建設業者は非常に厳しい状態でございます。「市の単独予算措置も考えてほしい」との声も聞きます。災害時は建設業者も市民の生命、財産を守っております。雇用、防災上からも、公共事業の単独予算措置の考えについて、見解をお伺いいたします。

**答** 今年度の市長政策調整枠の中でも道路改修工事を盛り込んでおり、今回も側溝清掃などの補正を提案しているところであります。市単独では一定の公共事業を確保するための努力はしておりますけれども、国においては、「コンパクトから人へ」の政策の中で全国的に見ても公共事業が減少しており、建設業界の景気低迷は建設業者の死活問題につながってきているものと認識しているところでございます。

**問** 公共事業、市道整備について、市道元垂水原田線の道路整備が今年度から、元垂水側から整備されるようであります。その計画について伺います。

**答** 平成23年度から平成27年度までの辺地対策事業といたしまして上市木までの延長2千800メートルを整備する計画でございます。

（その他の質問事項）  
○土砂処分場について



親子ふれあい教室



## 閉校3中学校跡地について 何か進展はないのか？

森 正勝 議員

**問** 平成22年3月閉校後、南中、協和中、牛根中跡地についてその後何か動きはないのか教えていただきたい。

**答** 閉校3中学校跡地の内旧垂水南中学校跡地については、水耕栽培企業からの事業提案を受けており、市における物産館、レストランの建設計画について現在関係課で協議されている。旧協和中・旧牛根中跡地については、アンケート結果や地域の議論等の意向などを踏まえて、地域住民の意向を大事にしながら、地域に、そして市民に役立てるという方向で進めていく必要があると考えている。全庁体制でこの課題に全力で取り組むたいと思います。

**問** 市有施設整備基金についてお伺いします。ほとんどが庁舎の建設基金と考えますが、基本構想と基本方針についてお答えをお願いします。

**答** 3月に設置した垂水市庁舎建設等庁内検討委員会で、現庁舎の背景や課題等を踏まえ、よりよい市民サービスの提供、効率的

な行政運営を目指し、新庁舎の建設について必要な事項をひとつひとつ検討し、その結果、報告書を市長に提出して、基本構想案を策定いたします。庁舎建設と行財政改革との整合性については、庁舎建設には多額の費用がかかり、本市財政に与える影響は非常に大きいものと考えます。平成22年に第2次行財政改革プログラムを策定し、行財政改革を推進しており、優先度による事業の峻別や市債の新規発行額の抑制を図っている。市債の活用と基金積み立てで費用負担を最小限に抑えたいと考えております。

**問** 鳥獣被害について被害対策への取り組みと課題について

**答** 有害鳥獣捕獲対策協議会を開催し、捕獲体制の確立や円滑かつ適正な捕獲の推進と被害防止対策の推進を図っております。猟友会員の減少で駆除の実施がままならなくなっております。

(その他の質問事項)  
○農業後継者の海外研修について



## 公共施設白書の作成と 市役所庁舎の建設を

池山 節夫 議員

**問** 垂水市第5期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画について。どの地域にどのような支援を必要とする高齢者の方々がどの程度生活しているのかといった地域の高齢者ごとの課題等を的確に把握・分析して、今後の高齢者福祉サービスを考えるということですが、第5期の計画への反映について伺います。

**答** 第5期の高齢者保健福祉計画と介護保険事業計画は平成24年度から26年度までの3年間を対象とする計画です。本計画策定に当たりましては、学識経験者、被保険者、保健福祉にかかわる団体、事業者等さまざまな意見をお聞きし、実態調査、ニーズ調査を実施することで市民のみなさまの声を反映したものとなっております。

**問** 垂水市でも多くの施設が建築してから何十年も経過し、施設の維持管理経費は増加していきまます。真に必要な施設サービスの提供を持続可能なものにしていくには公共施設の適正な配置と効率

的な管理運営を実現し、施設の総量を抑制していくことは避けて通れないと考えます。このような公共施設の更新問題に対応するために、公共施設白書について、さらに公共施設の更新と再配置について伺います。

**答** 公共施設は、各施策を展開する上で重要な役割を担うとともに、市民活動の拠点として機能しております。この施設を適正に管理し、将来の市民に健全な状態で継承していくことが重要です。公共施設白書を作成する事で本市の今後の公共施設のあり方を検討する公共施設統廃合計画、施設保全計画等の策定を行い、予算編成へ反映させたいと考えております。

**問** 市民の安心・安全な暮らしを守る拠点としての市役所庁舎について認識を伺います。

**答** 市民や議会を支えた新庁舎建設検討委員会へ基本構想案を提案する予定でございます。



垂水港テラス



### 参事制度継続 課長職退職一年前

池之上 誠 議員

**問** 文科省・国交省・警察庁合同の通学路見直し通達における緊急合同点検後の危険箇所対策として補助事業導入が期待されるが市道改修について伺う。

**答** 市道塩田・田畑線の牧橋から今川原橋までの通学路の路面現状は認識しており、路盤からの改修が必要である。単独事業では、財政面で厳しいものがあり、有利な事業を活用することを視野に入れ計画していく必要があるが、それまでは応急的対策を行っていく。安心・安全のためにもいろいろな方策等を再検証して対応していきたい。

**問** 津波対策の避難場所・避難経路の計画と安全性について、特に、高台避難が原則であれば、中央中学校から上野台地への避難経路としてマイロード延長先の人道橋設置について見解を伺う。

**答** 避難場所として水小が水之上定住促進住宅、牛根小・松ヶ崎小・中央中学校が校舎屋上、残り5校が学校裏の高台を指定して

いる。避難経路については、安全点検を実施し指定してあるが、災害状況に応じ避難経路を確保する。安全面については、職員配置や児童への安全指導を行っていく。人道橋については、全然考えてなかったが、高台避難が東日本大震災の大きな教訓として残る今、人命を守る観点からも、可能性の一つとして総合的に検証していく。

**問** 定員適正化計画の評価及び事務分掌の再編の見解及び参事制度の見解について伺う。

**答** 4名の前倒し削減ができおり計画は評価できる。一方、権限移譲等もあり、事務量は増え職員への負担も大きくなっていることから、事務分掌・課の統廃合を含めて年度内に検討していく。

参事制度については、課長職退職1年前には基本的に参事ポスト人事を継続していくが、参事としてしっかりとごができる環境づくりをしていきたいと考える。

(その他の質問事項)  
○交通事故・信号機設置について



### 県の総合防災訓練を本市の 防災対策へ生かして

川尻 達志 議員

**問** 5月に県の総合防災訓練が本市で実施されたが、私は3月議会において防災訓練は計画通り進行したからよかったじゃダメなのですよ。失敗したところ、想定外のできごとにとどのように対処したかが重要であり議事録をはじめとする総括の文書を作り要請が公表していくべきであると申し上げたがそのことについての見解はどうか。次に、自主防災組織のあり方についても見解をお伺いしたい。

**答** 今回の防災訓練は一年近くの準備期間があり、その間関係61団体とのさまざまな協議を重ねて参りました。その間のいろいろな意見、そしてシナリオの変更等をしつかりと議事録にまとめております。開示公表については県の事業でありましたので県の意向の確認をしなければいけないと考えます。公表については今この場での回答は差し控えたいと考えます。

**問** 本市の農地、農業は高齢

化後継者不足等で大変な危機の中にあります。私は過去にもこの件について意見を述べておりますが執行部の御理解を得るに至っていないのは誠に残念であります。困難な課題ではありますが、まず一歩を進めることが大事であります。そこで、企業農業、農業法人等の先進地の研修等の実施をすることが大事であると考えますが、その予算措置の実施についてどのように考えるか。

**答** 今、川尻議員のお話がありましたけれども、基本的には私もそのような考え方でおります。今まさに時代の転換期であり、本市の宝は基本的には一次産業であり農業の分野で先進地をみるということは非常に大事なことであり、主管課と十分に協議させていただき基本的に必要なものに関しては予算措置をしていきたいと考えております。



総務文教委員会現地視察【高峠メガソーラー候補地】

## 平成24年第1回臨時会に付議された事件審議結果一覧

番号	件名	審査結果
報告 第2号	専決処分の承認を求めることについて(平成23年度垂水市一般会計補正予算(第11号))	承認
報告 第3号	専決処分の承認を求めることについて(垂水市税条例の一部を改正する条例)	承認
議案 第33号	財産の交換について	原案可決

## 平成24年第2回定例会に付議された事件審議結果一覧

番号	件名	審査結果
議案 第34号	外国人登録法の廃止に伴う関係条例の整理に関する条例案	原案可決
議案 第35号	垂水市老人介護手当支給条例及び垂水市長寿祝金支給条例の一部を改正する条例案	原案可決
議案 第36号	消防団消防ポンプ自動車第1・第8分団車購入契約について	原案可決
議案 第37号	垂水市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議案 第38号	平成24年度垂水市一般会計補正予算(第1号)案	原案可決
議案 第39号	平成24年度垂水市介護保険特別会計補正予算(第1号)案	原案可決
意見書案 第8号	少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書採択の要請に関する意見書(案)	原案可決

### 視察研修報告

私も議会改革調査特別委員会の四名及び随員一名は、去る5月24日から25日まで、佐賀県嬉野市及び熊本県御船町において、視察研修を実施しましたので報告をいたします。

#### 1. 嬉野市

嬉野市は、人口約28,000人で、佐賀県の南西部に位置し、日経新聞第2回議会改革度調査で全国3位にランクされたことで有名であります。嬉野市では、議会改革及び議会基本条例制定について研修を受けました。

まず、「議会基本条例を制定した背景」については、市民の中から「市政について市議会議員に負託しているが、政策の提言など議会は行なわず、単に市長の政策の追認をしているだけではないのか。」との声があり、全国的な議会改革の流れや、議会・議員としての本来の職責を果たすため議会改革が必要であり議会基本条例を制定する動きとなったとのことでした。議会基本条例制定後に当選された新人議員については、「議

会基本条例」の中に議員としての資質向上のための内容が盛り込まれており、議員としての職責を改めて再認識するものとなっているとのことでした。



嬉野市議会にて

次に、「議会報告会」については、議会や議員を、そして、活動内容を市民の方々にもっとよく知ってもらう。また、市民の方々の意見交換の場として、年1回以上開催しているとのこと、小学校区ごとに開催されていましたが、参加される市民の方が固定化されてしまったとのこと、昨年度より細分化した地区で開催し、それにより、今まで参加されていなかった方も参加されるようになったとのことでありました。また、議会報告会での質問事項に関する答弁





江の島

は、議員個人としての立場ではなく、議会全体として答弁するように議員間での意思の疎通が図られていました。

「議会と行政との関係」については、執行部全員に反問権が与えられておりましたが、現在のところ執行部側が行使したことはないとのことでした。議会審議における論点情報の形成については、一部実施されているものの、内容等についてはさらに検討する部分が多いとのことでありました。

2. 御船町

御船町は、人口約18,000人で九州のほぼ中央に位置し、九州のへそと呼ばれております。また、日本で初めて肉食恐竜の化石が発見され、「恐竜のふるさとづくり」が進められています。御船町では、熊本県合志市と合同で、議会改革及び通年議会運営について研修を受けました。

御船町議会では、全国でも珍しく、「通年議会」を実施しております。御船町の場合、4月に町長から1回目の招集を受け、翌年の3月31日までが会期となります。通常は、他の議会と同様に、3月・

6月・9月・12月に開催されておりますが、全員協議会と委員会を毎月開催しており、緊急な議案等が発生した場合に迅速に開会しているとのことでした。

また、一般質問については、必要であれば、一般質問のみの議会開催も可能であるとのことでした。

通年議会については、議員提出議案がいつでも提出・受理できたり、専決処分が必要性がなくなったり、非公式な会議がなくなるなどのメリットがあります。一方で、執行機関が議会運営に拘束される時間が多くなるなどのデメリットもあり、行政側に理解があることでもうまく機能しているとのことでした。

以上のように、両議会とも議会の持つ職責を果たすために議員自らが議会改革に取り組み、説明も議員自らに行なうだけでなく、地方分権が進む中、議会の果たす役割と責任の重大さを再認識するものであります。

本委員会においても今回の視察研修を参考にし、議会基本条例制定に生かしていきたいと考えます。以上で視察研修の報告を終わります。

国道整備促進特別委員会による要望行動

平成24年8月2・3日の2日間、

垂水市議会の国道整備促進整備特別委員会が東京の民主党陳情要請対応本部及び国交省政務三役へ要望書を提出してきました。

国道整備に係る用地取得推進の協力や地元調整をはじめ、事業への全面的に協力し、地域住民が快適で安全に安心して暮らせる地域を創り上げるため、積極的な事業促進を図ってもらうために次の事項について要望しました。

①社会資本整備重点計画における今後の道路整備計画を策定するにあたり、遅れている道路整備を推進するため、財源の充実強化を図っていただきたい。

②道路特定財源が一般財源化され、今後においても道路整備費の大幅な財源確保を図っていただきたい。

③桜島の昭和火口においては継続的な活発化の活動が予想されていることから、降灰の激しい地域については、地域の幹線道路の整備を積極的に推進するとともに、住民の避難用道路の確保及び地域振興の観点からも、重要かつ不可欠な道路整備の予算について、特に配慮し大幅確保していただきたい。

④景気浮揚対策としての公共事業投資は、地方雇用・産業経済活動面を向上・発展に導く見地から、道路整備の予算についてさらなる拡大確保を図っていただきたい。特に、国道220号の整備促進を図っていただきたい。

- ◆早崎改良の早期整備促進
- ◆新城地区の拡幅の整備促進
- ◆牛根麓辺田地区及び二川地区並びに牛根地区の歩道整備促進
- ◆牛根麓地区における通行規制の撤廃や規制緩和に向けた事業導入等による取り組みの推進
- ◆牛根麓宮崎小路地区の歩道整備促進



国交省政務官へ陳情



被災地を思い、被災地に学ぶフォーラム

**編集後記**

小林一茶の句にはかえるを詠んだ句、「やせ蛙負けるな一茶これにあり」など多数あります。そんな中、今を示唆するような句、「叱つてもしゃあしゃあとして蛙かな」という句があります。小林一茶はどのような思いをこの句に詠んだのでしょうか。よくよく考えてみると蛙は稲作においてはなくてはならない生物で害虫を食べたりしてくれます。漢字も虫編に土で構成されています。確かに夜の大合唱にはだれもが閉口しますが、「静かに」と叫んでも、「しゃあしゃあ」とケロッとすますカエルです。「しゃあしゃあ」もカエルならかわいいですが、人間社会ではどうでしょうか。このようなことを厚顔無恥とも表現するようですが、政治家は常に謙虚で、主権者としての住民の権利をどのように具体化するかを基本とすることを忘れてはならないと考えます。季節や社会は様々な変化をしていきます。そんな中、変わることなく自然と一体となって繰り返さ

れる営みをじっくりと観察して、今を解き明かすことが改革への土台ではないでしょうか。大いに学びましょう。

**議員表彰**

全国市議会議長会第88回定期総会において、本市議会の篠原静則議員が議員在職25年以上で表彰されました。

6月4日の本会議終了後、議場において表彰伝達式が行われました。



篠原議員【議員表彰】

**市議会へ行くこう**

平成24年第3回定例会会期日程(案)

- 9月 3日 本会議
- 9月 11日 一般質問
- 9月 12日 一般質問
- 9月 14日 産業厚生委員会
- 9月 19日 総務文教委員会
- 9月 21日 議会運営委員会
- 9月 25日 本会議

※本会議は、市役所3階の議会傍聴席にて傍聴できます。

※委員会の傍聴は、委員長の許可が必要です。

※9月3日、9月25日の本会議は午前10時から、一般質問及び各委員会は午前9時30分からの開会予定です。

※市などへ意見や要望があるときは、だれでも請願書や陳情書を市議会に提出することができます。請願は市議会議員の紹介を必要としますが、陳情の場合は必要ありません。なお、定例会前の議会運営委員会前日までに受け付けたものが、その会期中に審査されます。

※陳情・請願の審査結果については、結論の出た陳情・請願は結果を郵送で回答します。

日程は変更になる場合がありますので、議会事務局までお問い合わせ下さい。

編集等についての御意見、ご感想等がございましたらお気軽にお寄せ下さい。

■お問い合わせは

垂水市議会事務局

Tel 32-1111 (358)

メールアドレス

[shika@city.tarumizu.jp](mailto:shika@city.tarumizu.jp)